

表 附則 R における火災被害制限

安全機能	火災被害制限
温態停止	中央制御室あるいは非常時制御室から温態停止を達成するのに必要な装置の1つのトレインがエクスポージャー火災 ¹⁾ を含む単一の火災被害から免れなければならない。
冷態停止	冷態停止するのに必要な 2 つのトレインがエクスポージャー火災を含む単一火災により被害を受けることはあっても、1 つのトレインが所内の能力を用いて 72 時間以内に修理されるようにその被害は制限されなければならない。
設計基準事故	設計基準事故の影響を軽減するために必要な両方の装置は単一のエクスポージャー火災により被害を受ける可能性がある。

1) エクスポージャー火災は、原位置、または一時所在可燃物が存在する所与の区域での火災であり、同区域またはその隣接する区域にある安全にとって重要な SSC に影響を及ぼす可能性を有するものである。こうした火災の影響(例えば煙、熱、引火)は、安全にとって重要な SSC に悪影響を及ぼす可能性がある。

参考文献

- ・長岐雅博「原子力発電所における火災安全の在り方に関する考察、東京理科大学大学院工学研究科建築学専攻修士論文」、2009